

RFMD ニュース

会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.
Irma Swain, Communications Manager
7628 Thorndike Road
Greensboro, NC 27409-9421, USA
電話: +1 (336) 931-6653
iswain@rfmd.com



rfmd.com

RFMD 社、PowerStar® デュアルバンド GSM/GPRS 送信モジュールを発表

RF4180 は新興市場向け携帯端末をシンプル化し実装コストを低減

スペイン／バルセロナ、2008 年 2 月 19 日：高性能な無線システム／ソリューションの設計、製造で世界をリードする RFMD 社(ナスダック GS:RFMD)は本日、「PowerStar®」GSM/GPRS デュアルバンド送信モジュール RF4180 を発表した。この RF4180 は新興市場の携帯電話で求められている価格や性能上の要件を満たしつつフロントエンドの構成を単純化するデバイス。

RF4180 「PowerStar」送信モジュールは、RFMD 社の最新技術による出力制御機能を利用して小型化と送信系設計の単純化を図り、クラス最高の高調波性能と実装の容易化を実現している。RF4180 は 2 系統の受信入力を備えた入出カインピーダンス 50Ω、GSM/GPRS クラス 12 準拠のデュアルバンド送信モジュールで、この送信モジュールは GSM900/DCS1800 携帯端末の送信系最終段に使用されるため、PA とアンテナとのマッチングが容易にとれるよう設計されている。RF4180 と最新のベースバンド SOC(システムオンチップ)ソリューションとを組み合わせることにより、開発期間を短縮しつつコストパフォーマンスの優れた高集積度の無線ソリューションを実現できる。

RF4180 PowerStar 送信モジュールには RFMD 社が特許を持つ PowerStar 総合出力制御技術が利用され、さらに出力平坦化技術やバッテリー電圧トラッキングも含めた完全な出力制御システムが用いられている。RFMD 社のバッテリー電圧自動トラッキング回路は電池電圧を監視して出力制御ループの飽和を防止するもので、電池電圧が低下した時でも携帯端末のスウィッチングスペクトラムを維持することができる。RFMD 社の出力平坦化回路は、理想的でない負荷(アンテナ不整合)に対する電流変動や出力変動を大幅に低減し、端末の開発期間を短縮すると共に安定した性能の携帯端末を実現する。RF4180 にはアンテナ端に ESD 保護用の静電放電(ESD)フィルタが含まれており、その損失は最小限で定格電力(Pout)時に最大の効率が得られる。

「RF4180 は低コストの小型化送信モジュール構成により携帯端末メーカーに高効率と性能向上をもたらします。これにより新興市場向けの端末開発で特に重要な指標となっている、電池寿命、通話持続時間、熱の発生がいずれも改善されます。当社は低コスト化、実装の容易化、小型化、そして製品化リードタイムの短縮を可能にする革新的なアーキテクチャーや設計技術の開発を通じ、引き続き端末メーカーの抱える複雑な RF 系の課題解決に取り組んでいきます。」と RFMD 社のコンポーネントソリューション事業部長ポール・オーガスティンは語る。

RFMD 社は GSM/GPRS フロントエンドのマーケットリーダーで、また携帯電話用送信モジュールの出荷数でも業界をリードしている。

RF4180 は鉛フリーで、有害物質の使用制限 (RoHS) に完全に適合する。RF4180 の単価は 100 万個ベースで \$1.12。

RFMD 社について: RF マイクロデバイセス社 (NASDAQ GS RFMD) は、無線通信／ブロードバンド通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム／ソリューションを設計、製造する業界リーダー。RFMD 社の携帯電話用フロントエンド、携帯電話用トランシーバ、システムオンチップ (SOC) ソリューションは携帯端末、携帯電話基地局、無線 LAN (WLAN)、CATV ネットワーク、航空宇宙、防衛、GPS 等の市場で活用され、その最先端の機能をサポートして通信能力を強化し、世界全体のモビリティを向上させている。幅広い分野の最新半導体技術と RF システムの専門技術で知られる RFMD 社は、移動通信機器や RF システムを手がける世界中の一流メーカーから最も信頼されている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置く RFMD 社は ISO 9001 および ISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD 社は RFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報は RFMD 社のホームページ、www.rfmd.com に紹介されている。

このプレスリリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外にも含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES®、RFMD®、PowerStar®、POLARIS™ TOTAL RADIO™は RFMD, LLC の商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。